

国立国語研究所学術情報リポジトリ

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面2・3「申し出談話」

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2020-03-18 キーワード: 作成者: 森, 勇太 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002758

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面2・3「申し出談話」

森 勇太
(関西大学)

1. 場面設定

本稿では、リーグ戦式ロールプレイの場面2・場面3で取り上げた申し出の談話の分析を行う。場面設定を以下に挙げる。

(1) 場面2：若年層

a 電話の掛け手

乙さんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、準備に手間取っていると聞きました。乙さんに電話をかけて、乙さんの準備を手伝うことを申し出てください。断られてもさらに申し出を続けてください。

b 電話の受け手

あなたは今ゼミ（サークル・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、少し手間取っています。そこに甲さんから電話がかかってきます。甲さんから申し出があるのですが、いったん断ってください。その後、適当なところでその申し出を了承してください。

(2) 場面2：高年層

a 電話の掛け手

乙さんが自治会（職場・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、準備に手間取っていると聞きました。乙さんに電話をかけて、乙さんの準備を手伝うことを申し出てください。断られてもさらに申し出を続けてください。

b 電話の受け手

あなたは今自治会（職場・親睦グループ等）の行事の準備をしているのですが、少し手間取っています。そこに甲さんから電話がかかってきます。甲さんから申し出があるのですが、いったん断ってください。その後、適当なところでその申し出を了承してください。

(3) 場面3：（若年層・高年層共通）

a 電話の掛け手

あなた（甲）は今、ある本を探しています。乙さんに電話をかけて乙さんがそれを持っているかを尋ねてください。

b 電話の受け手

甲さんから電話がかかってきます。甲さんはある本を探していて、あなたがその本

を持っているかどうかを尋ねてきます。あなたはその本を持っているので、そのことを伝え、甲さんのところに本を持って行くことを提案してください。話がまとまったら電話を切ってください。

調査の当初は場面3を設定したが、より典型的な申し出の談話を収録すべく、調査の途中から場面2に切り替えて調査を行っている。これについては4節で詳しく述べる。

本稿の構成は以下の通りである。2節では申し出表現を扱った先行研究について触れる。3節では、首都圏若年層女性ペアを例に、リーグ戦式ロールプレイ場面2の談話の構造について述べる。4節では、同ロールプレイ場面3の構造について述べる。なお本稿末尾には、分析の対象とする首都圏女性ペアの場面2・場面3談話を、行為的機能・機能的要素を付与して挙げた。

2. 先行研究

申し出表現は聞き手に対して利益のある行為を行うことを話し手が行うことを述べるものである(坂本・蒲谷 1995)。申し出表現について、特に述部でどのような形式が用いられるかについては、尾崎(2008)や『方言文法全国地図』の調査があり、尾崎(2008)や沖(2009)では、一定の地域差が示されている。

ただし、申し出がどのような談話構成のもとで遂行されるか、という点について調査を行った研究は、管見の限り見られない。本稿では、申し出談話の構造の地域差を研究する前段階として、本プロジェクトで得た首都圏の若年層女性ペア(sht_1f04)の談話を取り上げ、その談話の構造、および使用されている形式・表現の特徴について述べたい。

3. 首都圏女性ペアの場面2談話の分析

3. 1. 申し出談話の構造

本節では首都圏の若年層女性ペア(sht_1f04)の場面2の申し出談話を取り上げる。3. 1. 節では全体的な構造について、3. 2. 節では設定した機能的要素について、3. 3. 節ではこの談話に見られる説得のストラテジーについて、3. 4. 節では申し出表現における授受表現の使用について述べる。

まず、申し出談話の構造について、当該のペアでは次ページ表1の通り談話が展開された。

場面2では、まず、事情説明を行った後、手伝いの申し出が行われる。一旦断られるものの、話し手がさらに説得するという構成になっている。説得は聞き手が受諾するまで、繰り返し行われる。基本的にこの談話は、掛け手がそのまま主導権を持つものである。

表1 申し出談話（場面2）の構造

		同級生	先輩—後輩
開始部		0001-0003 相手確認	0001-0003 相手確認
主 要 部	申し出 ／ 断り	0004-0012 事情説明・申し出／断り	0004-0010 事情説明・申し出／断り
		0013-0019 説得／断り①	0011-0024 説得／断り
		0020-0032 説得／断り②	
	申し出 ／ 受諾	0033-0042 約束	0025-0034 申し出の受諾
0044-0048 申し出の受諾			
終結部		0049-0051 別れの挨拶	0049-0051 別れの挨拶

3. 2. 申し出の機能的要素

首都圏女性ペアの申し出談話のうち、実際に申し出を行っている部分を取り出すと(4)・(5)のようになる（便宜上申し出を行う側の発話のみを抜き出し、つなげて示す）。

- (4) なんかさー、今週末にさー、新宿店で、なんか宴会があるって聞いたんだけどー、Zさんがー、なんか、B（姓）ちゃん、込むと疲れちゃうからー、A（姓）ちゃん、もし暇だったら、新宿来て手伝っちゃいなよって言われたんだけど、わたし、暇だからー、なんか、ま、行こっかなーって思ったんだけど、どーお。（sht_if04ab-2：0004-0012）
- (5) あの一、が、今度、学祭あるじゃないですかー。なんかその準備が、すごいたいへんって聞いたんですけどー、もし、わたしー、暇なんでー、あの、なんでも手伝うんで、なんか手伝うことありますか。（sht_if04ac-2：0004-0010）

これらについて、現時点での便宜的なものではあるが、申し出を遂行するための便宜的な要素として、(6)の“機能的要素”（熊谷・篠崎 2006）を設定した。

申し出を最も直接的に行うのは《話し手の意向の表明》や《聞き手の意向の確認》と考えられるが、その準備としての《注目喚起》《申し出の経緯》、および効果的補強として機能する《不都合》《話し手の事情の説明》《話し手の利益の表明》などが設定可能である。

- (6) a 《注目喚起》「なんかさー」「いや」「ほら」
 b 《申し出の経緯》「今週末にさー、新宿店で、なんか宴会があるって聞いたんだけどー、Zさんがー、」「A（姓）ちゃん、もし暇だったら、新宿来て手伝っちゃいなよって言われたんだけど、」「今度、学祭あるじゃないですかー。なんかその準備が、すごいたいへんって聞いたんですけどー、」

- c 《不都合》「B（姓）ちゃん、込むと疲れちゃうからー、」
- d 《話し手の事情の説明》「わたし、暇だからー、」「なんでも手伝うんで、」
- e 《話し手の意向の表明》「行こっかなーって思ったんだけど、」
- f 《聞き手の意向の確認》「どーお。」
- g 《事象情報要求》「なんか手伝うことありますか。」

3. 3. 説得のストラテジー

また、この談話には副次的に説得の言語行為が含まれる。説得については、ペア場面4（誘い）の談話にも見られるが、ペア場面4の勧誘はいったん断られた宴会・旅行等に聞き手を引き込むものであり、聞き手の利益は考慮に入られていない発話行為である。それに対して、この場面の申し出の発話行為は基本的には聞き手に利益をもたらすものであり、両者の説得のあり方は少しずつ異なることが予想される。場面2の説得の要素としては、以下の表現が見られた（本節では他の地点で見られたストラテジーも加えて述べる）。

- (7) a 話し手に余裕があることを伝える。〔《話し手の事情の説明》と共通〕
「やることがないの。最近、赤坂、暇だから、」（sht_lf04ab-2：0022-0024）
- b 話し手側の実行の必然性があるように述べる。
「や、でも、来年は、わたしたちー／／が、ま、幹事の学年なるんで、／／ちと、
なんか、お手伝いだけでもやらしてもらったほうが、いっかなーとかも思うんですけど、どですかね。（hrs_lf01ac-2：0041-0045）
- c 話し手にとって不都合であることを伝える。
「あの一、それはね、申し訳ないので、や、ちょっと、な、なんかやりますよ。」（aic_lf02cb-2）
- d 話し手の利益になることを伝える。
「新宿のお手伝いして、忙しいの久しぶりに体験したいなーと思って。」（sht_lf04ab-2：0026）
「いや、もったいないじゃん。ほら、お金稼ぎたいし。新宿店、」（sht_lf04ab-2：0028）
- e 聞き手にとっての負担を述べる。
「結構、量、多かったですよね。で、今日、わたし、なんもないのでー、」（aic_lf02bc-2：0020）
- f 聞き手の力不足を伝える。
「でも、分からない事とか、結構〔ケッコ〕一杯あるんじゃない↑。あんまりーさ、まだ、1年生、／／あー、準備とか、したことないやろーけん、」（hrs_lf01cb-2：0028-0030）
- g 集団の利益になることを伝える。

「そですか。でも、まあ、なんか、多いほうが、早く終わるかなーとも思うのでー、
／／少しでも、」 (aic_1f02ac-2 : 0016)

説得のストラテジーとしては、《話し手の事情の説明》や話し手の利益、また話し手が当該の動作を行うことの必然性について述べるもの、あるいは聞き手の利益や負担に言及するものなどが見られた。ひとつの談話に複数の要素が見られることもあり、これらを組み合わせて、先行する申し出に対する効果的な補強として機能していると考えられる。

3. 4. 申し出表現における授受表現の使用

先行研究では申し出表現の中で、授受表現の使用に地域差があることが指摘されている。リーグ戦式ロールプレイ談話場面2（全地点）を確認すると、これらの授受表現の使用は「～させていたきたい」が2例、「～させてください」が1例、「～てやる」が2例見られた。

(8) a でー、それを聞いたのでー、お手伝いをさしていただきたいと思ったんですけどー。

(sht_1f05ac-2 : 0012)

b いや、やらせてください。 (sht_1f05ac-2 : 0016)

c あのー、ちょっと、お手伝いさせていたきたいなーと思ひましてー。

(aic_1m01bc-2 : 0016)

d なんか手伝ってやれんかな／／と思って、電話したんだけど。 (hrs_1m02ca-2 : 0010)

e で、いろいろ、やり方わかるけん、なんか手伝ってやろうと思って電話したんやけど。 (hrs_1m02cb-2 : 0018)

語彙の意味としては聞き手に利益を与えるもののため、「～てやる」「～てあげる」「～てさしあげる」等が使用されてもよいところではあるが、使用されている例は少ない。少ないながらも、その使用を見ると、「～させていただく」「～させてください」という受益の表現は後輩の話し手から先輩の聞き手へ、「～てやる」という授益の表現は先輩の話し手から後輩の聞き手へ、それぞれ使用されている。日高（2007 : 13-14）は授受動詞の表す立場上の上下関係があり、敬語的には中立の場合であっても、恩恵の与え手が上位、恩恵の受け手が下位として認識されると述べるが、非敬語の授益の表現「～てやる」が先輩から後輩への利益があるときに用いられるというのは、そのような授受動詞の表す立場の上下関係と合致している。ただし、「～てやる」を用いている2例も、ともに「～と違って」に接続して心内発話の形式をとっており、「～てやろう」のように意志表現として用いられているわけではない。このことから、聞き手への利益を明示して申し出を行うということは、現代では起こりにくいと言える。

4. 場面3 談話の分析

本節では、場面3の談話について述べる。表2に談話の構造を示す。

表2 申し出談話（場面3）の構造

		同級生ペア	後輩から先輩
開始部		0001-0003 相手確認	0001-0003 相手確認
主 要 部	依頼	0004-0011 Bによる本所有の確認	0006-0019 Cによる本所有の確認
		0012-0024 本借りの依頼／受諾	0020-0028 本借りの依頼／受諾
	申し出	0025-0028 申し出／受諾	0029-0032 申し出／受諾
		0029-0039 予定確認	0033-0038 予定確認
終結部		0040-0043 別れの挨拶	0039-0040 別れの挨拶

主要部の前半は、電話の掛け手が事情説明をして、受け手はそれに対してあいづちをしたり、聞かれた情報について答えたりする、という関係であり、掛け手が主導して会話を展開しているといえる。ところが、主要部の後半では、受け手が掛け手の場所を尋ねたり、持って行くという新たな提案をするのに対し、掛け手はそれに対し、聞かれた情報について答えたり、聞き手の申し出に感謝をするという関係にある。後半部は電話の受け手が主導して展開しているといえ、この点で主導権の交替が見られる会話だといえる。

場面3の機能的要素としては、場面2で見られたものと共通のものが設定できる。その他、首都圏女性ペアの談話ではないが、依頼を承けて、すぐに予定確認を行うものがあり、このような談話は予定確認が申し出の準備として機能しているといえる。たとえば(9)の談話ではAは0013にて依頼を承諾した後、その発話でCの予定を確認し、0017で行う申し出の準備としている。

(9) 0009A：あ、今、持ってまーす。

0010C：あ、ほんまに↑。

0011A：はい。

0012C：ちょっと、貸してもらえないですか／／ねー。

0013A：あ、わかりました。今、今、どこにいてはりますか。《聞き手の予定確認》

0014C：あ、今一、えっと、凜風んどこにいるんで一、

0015A：はい。

0016C：ちょっと、そこー、

0017A：／／あ、持っていきます。《話し手の意向の表明》

0018C：待ち合わせでもいいですか。

0019A：はい。

0020C : あ、ありがとうございます。じゃあ、お待ちしてます。(kns_1f05ca-3)

このように、場面3の申し出は依頼を承けており、依頼の承諾という側面を持つ。このことから申し出の発話行為としては、場面2のほうがより典型的であると思われる。

5. まとめ

本稿では、首都圏若年層女性ペアの申し出談話を分析し、特に場面2について、以下のことを述べた。

1. 申し出表現の核となるのは《話し手の意向の表明》や《聞き手の意向の確認》である。ただし、それ単独で申し出が行われるのではなく、その準備としての《注目喚起》《申し出の経緯》、および効果的補強としての《不都合》《話し手の事情の説明》《話し手の利益の表明》といった要素が組み合わさって、申し出を遂行している。[3. 2. 節]
2. 申し出の際の説得のストラテジーとしては、《話し手の事情の説明》や話し手の利益、また話し手が当該の動作を行うことの必然性について述べるもの、あるいは聞き手の利益や負担に言及するものなどが見られた。ひとつの談話に複数の要素が見られることもあり、これらを組み合わせて、先行する申し出に対する効果的な補強として機能している。[3. 3. 節]
3. 申し出の際の授受表現の使用について、「～させていただく」「～させてください」という受益の表現は後輩の話し手から先輩の聞き手へ、「～てやる」という授益の表現は先輩の話し手から後輩の聞き手へ、それぞれ使用されている。非敬語の授益の表現「～てやる」が先輩から後輩への申し出の際に用いられるというのは、授受動詞の表す立場の上下関係と合致している。[3. 4. 節]

ひとくちに申し出といっても、場面2・3に差異があるように、主導権の取り方や談話の構成が異なることもありうる。今後の研究においては、どのような条件が申し出の談話構成に影響を与えるかという点についても詳しく考えていく必要がある。

参考文献

- 沖裕子(2009)「発想と表現の地域差」『月刊 言語』38(4), 16-23, 大修館書店.
- 尾崎喜光(2008)「援助申し出場面における授恵表現「～てやる/～てあげる/てさしあげる」の使用」早稲田大学待遇コミュニケーション研究会(編)『待遇コミュニケーション研究』5, 83-94, 早稲田大学待遇コミュニケーション研究会.
- 熊谷智子・篠崎晃一(2006)「依頼場面での働きかけ方における世代差・地域差」『言語行動における配慮の諸相』第3章, 国立国語研究所報告 123, 19-54, くろしお出版.
- 坂本恵・蒲谷宏(1995)「「申し出」表現について」『国語学 研究と資料』19, 25-35, 早稲田大学国語学研究と資料の会.

日高水穂(2007)『授受動詞の対照方言学的研究』ひつじ書房.

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面2・3「申し出談話」

(1) 首都圏若年層女性ペア（同輩同士）（場面2）

【開始部】

相	0001B：もしもし。	B：注目要求
手	0002-1A：もしもし、	A：注目要求
確	0002-2A：／／B（あだ名）。	A：情報要求
認	0003B：うん。うん。	B：陳述・表出

【主要部】

事 情 説 明 ・ 申 し 出 ／ 断 り	0004A：なんかさー、今週末にさー、新宿店で、なんか宴会があるって聞いたんだけどー、	A：陳述・表出
	0005B：{笑}	B：注目表示
	0006A：Zさんがー、	A：陳述・表出(1/4)
	0007B：／／うん。	B：注目表示
	0008A：なんか、B（姓）ちゃん、込むと疲れちゃうからー、	A：陳述・表出(2/4)
	0009B：／／うん。	B：注目表示
	0010A：A（姓）ちゃん、もし暇だったら、新宿来て手伝っちゃいなよって言われたんだけど、	A：陳述・表出(3/4)
	0011B：うん。	B：注目表示
	0012-1A：わたし、暇だからー、なんか、ま、行こっかなーって思ったんだけど、	A：陳述・表出(4/4)
	0012-2A：どーお。	A：情報要求
	説 得 ・ 断 り ①	0013-1B：ん
0013-2B：で、でも、大丈夫だよ。		B：陳述・表出
0013-3B：でも、いるもん、いっぱい、人、新宿。		B：陳述・表出
0014-1A：ほんとに↑。		A：注目表示
0014-2A：なんかB（あだ名）が、		A：陳述・表出(1/3)
0015B：／／ん。		B：注目表示
0016A：いいよってゆってくれたら、わたしは行けるってゆう話を、		A：陳述・表出(2/3)
0017B：／／{笑}		B：注目表示
0018A：Zさんから、聞いたんですけどー。		A：陳述・表出(3/3)
説 得 ・ 断 り	0019-1B：え、うん。	B：陳述・表出
	0019-2B：ん、でも大丈夫だよ。	B：陳述・表出
	0020-1A：えー、	A：注目表示
	0020-2A：***ね、暇なの。	A：陳述・表出
	0021B：うん。／／{笑}	B：注目表示
	0022A：やることのないの。最近、	A：陳述・表出
	0023B：／／うん。	B：注目表示

②	0024A : 赤坂、暇だから、	A : 陳述・表出(1/2)
	0025B : うん。	B : 注目表示
	0026A : 新宿のお手伝いして、忙しいの久しぶりに体験したいなーと思って。	A : 陳述・表出(2/2)
	0027B : えー、いいよー。家でゴロゴロしてなよー。	B : 行為要求
	0028-1A : いや、	A : 注目表示
	0028-2A : もったいないじゃん。	A : 陳述・表出
	0028-3A : ほら、お金稼ぎたいし。	A : 陳述・表出
	0028-4A : 新宿店、	A : 陳述・表出(1/2)
	0029B : //うーん。	B : 注目表示
	0030A : 楽しいし。	A : 陳述・表出(2/2)
	0031B : //うーん。	B : 注目表示
	0032A : 手伝う、手伝う。	A : 陳述・表出
約束	0033-1B : うーん、んー。{笑}	B : 注目表示
	0033-2B : んー、//いいの↑。	B : 情報要求
	0034A : い、ねー、終わったら一緒に食べようよ。	A : 行為要求
	0035B : うん。	B : 注目表示
	0036A : //いーい↑。	A : 情報要求
	0037B : 新宿のベイジンでね↑。	B : 情報要求
	0038A : うん。	A : 陳述・表出
	0039B : //うん。	B : 注目表示
	0040A : いーい↑。	A : 情報要求
	0041B : いいよー。	B : 陳述・表出
0042A : あ、じゃ、わたし//行くよ↑。	A : 情報要求	
申し出の受諾	0043-1B : わかった。//	B : 注目表示
	0043-2B : うん、いいよ。	B : 陳述・表出
	0044-1A : うん、	A : 注目表示
	0044-2A : Zさんにゆつといてね、じゃあ。行くなって//こと。	A : 行為要求
	0045B : わかった。	B : 注目表示
	0046A : //うん。	A : 注目表示
	0047B : わかった。	B : 注目表示
	0048A : よろしくー。	A : 関係づくり, 儀礼

【終結部】

別れの挨拶	0049B : はーい。	B : 注目表示
	0050-1A : はい、//	A : 注目表示
	0050-2A : じゃあねー。	A : 関係づくり, 儀礼
	0051-1B : はーい。	B : 注目表示
	0051-2B : バイバーイ。	B : 関係づくり, 儀礼

(2) 首都圏若年層女性ペア (先輩後輩) (場面2)

【開始部】

相	0001C : もしもしー。	C : 注目要求
手	0002A : あ、もしもしー、	A : 注目表示
確	0002A : 先輩ですか↑。	A : 情報要求
認	0003C : うん。	C : 注目表示

【主要部】

事情説明・申し出／断り	0004-1A : あのー、	A : 注目要求
	0004-2A : が、今度、学祭あるじゃないですかー。	A : 情報要求
	0005C : うんうん／うん。	C : 注目表示
	0006A : なんかその準備が、すごいたいへんって聞いたんですけどー、	A : 陳述・表出
	0007C : ／／あー、うー。	C : 注目表示
	0008A : もし、わたしー、暇なんでー、あの、	A : 陳述・表出
	0009C : ／／うん。	C : 注目表示
	0010-1A : なんでも手伝うんで、	A : 陳述・表出
0010-2A : なんか手伝うことありますか。	A : 情報要求	
説得・断り	0011-1C : え、	C : 注目表示
	0011-2C : 平気なの↑。	C : 情報要求
	0012A : いや、	A : 注目表示
	0013C : でも、	C : 情報要求(1/2)
	0014A : 大丈夫です。	A : 陳述・表出
	0015-1C : 忙しいっしょ、そっちも。	C : 情報要求(2/2)
	0015-2C : だから大丈夫だよ。こっちでやるから。	C : 陳述・表出
	0016-1A : いや、もう、あたし、なにもすることないんで、ほんとに。	A : 陳述・表出
	0016-2A : バイトぐらい／／しかないんで。	A : 陳述・表出
	0017C : {笑}	C : 注目表示
	0018A : バイトまでの時間とか結構暇だし、学校いるので。	A : 陳述・表出
	0019C : あ、そうなんだ。	C : 注目表示
	0020A : ／／はい。	A : 注目表示
	0021C : え、じゃ、がん、バイトまでの時間とかは、	C : 行為要求(1/2)
	0022A : はい。	A : 注目表示
	0023C : ちょ、空いてるときー、手伝ってくれる↑。	C : 行為要求(2/2)
0024-1A : あ、	A : 注目表示	
0024-2A : 手伝います、手伝います。	A : 陳述・表出	
申し出	0025-1C : あ、	C : 注目表示
	0025-2C : ありがとー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0026A : ／／はい。	A : 注目表示

の 受 諾	0027C : じゃあ、それ、お願いーい。	C : 行為要求
	0028A : はい。	A : 注目表示
	0029C : また、じゃあ、時間、	C : 陳述・表出(1/2)
	0030A : //はい。	A : 注目表示
	0031C : 連絡する//しー、	C : 陳述・表出(2/2)
	0032-1A : はい、	A : 注目表示
	0032-2A : わかりました。	A : 陳述・表出
	0033-1C : うん、	C : 注目表示
	0033-2C : いつでも来てー。	C : 行為要求
0034A : //はい。	A : 注目表示	

【終結部】

別 れ の 挨拶	0035C : ありがとー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0036-1A : はい、	A : 注目表示
	0036-2A : ありがとうございます。	A : 関係づくり, 儀礼
	0037-1C : はーい、	C : 注目表示
	0037-2C : //お願いーい。	C : 関係づくり, 儀礼
	0038A : はい、はーい。	A : 注目表示

(3) 首都圏若年層女性ペア (同輩同士) (場面3)

【開始部】

相 手 確 認	0001A : もしもしー。	A : 注目要求
	0002B : もしもし↑。	B : 注目要求
	0003A : //はい。	A : 注目表示

【主要部】

本 所 有 の 確 認	0004B : ねーねーねーねー、あのさー、	B : 注目要求
	0005A : うん。	A : 注目表示
	0006-1B : あのさ、	B : 注目要求
	0006-2B : 北京で買ったさー、	B : 情報要求(1/3)
	0007A : //うん。	A : 注目表示
	0008B : 『ドラえもん』のさー、	B : 情報要求(2/3)
	0009A : うん。	A : 注目表示
	0010B : 本、まだ持ってる↑。	B : 情報要求(3/3)
	0011-1A : あー、	A : 注目表示
	0011-2A : 持ってる、持って//る。	A : 陳述・表出
依 頼 ・	0012-1B : ん、	B : 注目表示
	0012-2B : あれ読みたいんだけどさー、	B : 陳述・表出
	0013A : あーあー//あーあー。	A : 注目表示

受 諾	0014B : わたしが持っているのと違う巻のやつ、貸してほしんだけど。	B : 行為要求
	0015A : あ、いいよいいよ。	A : 注目表示
	0016B : //いーい↑。	B : 情報要求
	0017-1A : 何巻かあったよね。	A : 情報要求
	0017-2A : //うん。	A : 陳述・表出
	0018B : うん。	B : 陳述・表出
	0019A : いいよー。	A : 陳述・表出
	0020B : //8巻貸してー。	B : 行為要求
	0021A : もう読ま、ん、読んでないから、	A : 陳述・表出(1/2)
	0022B : うん。	B : 注目表示
	0023A : いいよー。	A : 陳述・表出(2/2)
	0024B : //わかった。	B : 陳述・表出
申 し 出 ・ 受 諾	0025A : じゃあ、持ってくね。	A : 陳述・表出
	0026B : うん。	B : 注目表示
	0027A : //じゃあ、	A : 情報要求(1/2)
	0028B : あ、うん。	B : 注目表示
予 定 確 認	0029A : B (あだ名)、いつ学校来んの↑。	A : 情報要求(2/2)
	0030B : 毎日。	B : 陳述・表出
	0031A : 毎日↑。	A : 注目表示
	0032B : うん。	B : 陳述・表出
	0033A : わたし、今度、水曜日行くから、	A : 情報要求(1/2)
	0034B : //うん。	B : 注目表示
	0035A : そんなとき持っていこうか。	A : 情報要求(2/2)
	0036-1B : うん、	B : 注目表示
	0036-2B : ありがとー。	B : 関係づくり, 儀礼
	0037A : いーい↑。	A : 情報要求
0038B : うん。	B : 注目表示	
0039A : はーい、わかった。// {笑}	A : 陳述・表出	

【終結部】

別 れ の 挨拶	0040B : はーい。	B : 陳述・表出
	0041-1A : はい、	A : 注目表示
	0041-2A : //じゃあねー。	A : 関係づくり, 儀礼
	0042-1B : じゃあねー。	B : 関係づくり, 儀礼
	0042-2B : パイパーイ。	B : 関係づくり, 儀礼
	0043A : はーい。	A : 関係づくり, 儀礼

(4) 首都圏若年層女性ペア (先輩後輩) (場面3)

【開始部】

相手確認	0001-1A : はい、	A : 注目表示
	0001-2A : もしもしー。	A : 注目要求
	0002-1C : あ、	C : 注目表示
	0002-2C : もしもしー、	C : 注目要求
	0002-3C : A (姓) //さん↑。	C : 情報要求
	0003A : はい。はい。	A : 陳述・表出
	0004C : あの、C (姓) なんだけどー、	C : 陳述・表出
0005A : はい。	A : 注目表示	

【主要部】

本所有の確認	0006C : あの、『名探偵コナン』の漫画、持ってるってゆってたよね。	C : 情報要求	
	0007A : はい、言ってる、{笑} //言いました。	A : 陳述・表出	
	0008C : {笑} その最新刊って買った↑。	C : 情報要求	
	0009A : 買いました、買いました。	A : 陳述・表出	
	0010-1C : あ、	C : 注目表示	
	0010-2C :ほんとに↑。	C : 情報要求	
	0010-3C : じゃ、	C : 情報要求(1/3)	
	0011A : //はい。	A : 陳述・表出	
	0012C : 持ってる↑、	C : 情報要求(2/3)	
	0013-1A : あ、	A : 注目表示	
	0013-2A : //持ってますよ。	A : 陳述・表出	
	0014C : よねー。	C : 情報要求(3/3)	
	0015A : あの、いちばん新しいやつですよ。	A : 陳述・表出	
	0016C : そうそうそうそう。	C : 注目表示	
	0017A : はい、//持ってます。	A : 陳述・表出	
	0018C : それ、読み終わった、もう。	C : 情報要求	
	0019A : 読みました。	A : 陳述・表出	
	依頼・受諾	0020-1C :ほんとに↑。	C : 情報要求
		0020-2C : あの、申し訳ないんだけどー、	C : 関係づくり, 儀礼
0021A : はい。		A : 注目表示	
0022C : 貸してほしいなーって思っー。		C : 陳述・表出	
0023-1A : あ、		A : 注目表示	
0023-2A : 先輩も読みますか↑。		A : 情報要求	
0024C : うん。		C : 陳述・表出	
0025-1A : あ、		A : 注目表示	
0025-2A : いいですよ。	A : 陳述・表出		
0026C : // {笑}	C : 注目表示		

	0027A : 全然貸します。	A : 陳述・表出
	0028C : ありがとー。	C : 関係づくり, 儀礼
申し出	0029A : え、んじゃあ、わたし持ってきてゆ、持っていくんで、	A : 陳述・表出
	0030C : うん、うん。	C : 注目表示
	0031A : あした、学校のときに、また渡しますね。	A : 陳述・表出
	0032-1C : あ、うん、	C : 注目表示
	0032-2C : ありがとー。	C : 関係づくり, 儀礼
予定確認	0033A : はい。	A : 注目表示
	0034C : //じゃあ、ま、	C : (未完発話)
	0035A : ゼミのときでいいですよ。	A : 情報要求
	0036C : うん、いいよ、いいよー。	C : 陳述・表出
	0037-1A : はい、	A : 注目表示
	0037-2A : じゃあ、持っていきます。	A : 陳述・表出
	0038-1C : はい、	C : 注目表示
	0038-2C : ありがとねー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0039-1A : はい、	A : 注目表示
0039-2A : いいえ、いいえ。	A : 注目表示	

【終結部】

別れの挨拶	0040C : よろ//しくー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0041-1A : じゃ、またあした。	A : 関係づくり, 儀礼
	0041-2A : //はい。	A : 注目表示
	0042C : はい。	C : 注目表示